

新分野進出に係る全国事例

第1章 環境・リサイクル分野

- 1 容器包装リサイクルの事業化と再生品の高付加価値化に挑む ----- 64
- 2 ハウス栽培の周年化・低コスト化・クリーン化をめざしての研究・開発事業
- 3 鉱物資源と木質バイオチップの編成による河川浄化と自然養鶏計画
- 4 地域の木質資源をエネルギー源とした循環型産業振興を狙う
- 5 地元産出の珪砂を利用した浄化処理剤と浄化処理装置の研究・開発事業
- 6 粘土を材料に、土壌汚染物質を簡単・低コストで分解無毒化する技術を開発
- 7 企業連携と外部専門家活用で、コンパクトな水処理システムを開発
- 8 地元企業・大学の技術を活用し、省コスト生ゴミ堆肥化プラントを開発 ----- 65
- 9 循環型社会推進のため、農業集落排水汚泥液肥化の事業化を目指して
- 10 緑化事業と生ゴミ処理の融合で地域の環境問題に貢献する
- 11 農業副産物の粕殻でペレットを製造、地域のバイオマス燃料として利用
- 12 ごみ問題と環境問題対策に向けた生ゴミ粉碎機販売設置事業の展開
- 13 砂場の環境改善・浄化事業 ~安全できれいな砂場で子供を遊ばせるために~
- 14 自然環境を活かし地域に貢献せよ! 目指すは「電力の自給自足」
- 15 砂利採取跡地の優良農地化とバイオディーゼル燃料(BDF)の抽出・利用 ----- 66
- 16 未利用木質系資源を活用した固形燃料の生産・販売システムを構築
- 17 焼酎かすをバイオガス化して二次エネルギーに変換する事業
- 18 中間処理・農業活性化・バイオマスを活用した有機廃棄物処理事業
- 19 高機能気相成長炭素繊維分散媒液を自治体・プラントメーカーと共同開発
- 20 廃タイヤ燃料のコスト削減型温水ボイラープラントの販売・設置
- 21 新素材(カイ)セラミックを使った小型重金属抽出処理装置等の開発・販売
- 22 建設廃材をバイオマス資源として有効活用を図り、新規事業化を目指す ----- 67
- 23 剪定作業で発生する生木を再利用し付加価値の高い堆肥肥料として製造販売

第2章 農林水産業分野

- 24 地域酪農家の経営支援を目指した理想的な粗飼料の生産と販売事業 ----- 67
- 25 EM(有用微生物)を活用した農業による米・りんごを生産・販売
- 26 地域と連携し、「白神」ブランドを活かした農産物を生産・販売する
- 27 青森産の地鶏「シャモロック」の飼育に挑戦、本格稼働へ
- 28 夏季冷涼な気候を活かし四季成りイチゴ(こはく姫)の産地化・ブランド化に取り組む
- 29 ワサビ栽培事業によるアグリビジネスへの進出と地域活性化の一翼を担う ----- 68
- 30 農業先進国オランダの技術を採用した魅力ある未来型農業の構築
- 31 ステビア農法による安全な農産物を消費者の食卓へ
- 32 遊休農地を活用した農業事業参入 ~観光農園と直売による展開を推進~
- 33 無農薬・無化学肥料農業への進出 ~観光農園化を目指して~
- 34 長年の夢である「地域交流」の一環として観光農園・体験型農場事業を展開
- 35 倉庫や仮設材が「植物工場」に変身! 天候に左右されずに売れる野菜を生産
- 36 国立公園内の海で「とらふぐ」の養殖と加工・販売の一貫体制を構築 ----- 69
- 37 高知県で規格外ミニトマトの商品化による新たな収益源の確保
- 38 ブルーベリー、そば、高菜等の農産物栽培とこれを利用した観光農園の開発

第3章 介護・福祉分野

- 39 車種を選ばず簡単に脱着できる障害者にやさしい運転補助装置の開発 ----- 69
- 40 社有地活用で介護施設を建築・開設、介護ノウハウを蓄積し介護ビジネスへ
- 41 一人暮らし認知症高齢者のためのグループホーム建設・運営事業
- 42 介護住宅・施設改修事業の推進とユニバーサルデザインの研究
- 43 介護福祉施設の企画・施工から運営コンサルまでをトータルプロデュース ----- 70
- 44 本業の好況による余剰資金で新事業へ。地域貢献のため福祉、農業分野進出

第4章 サービスの開発・提供分野

45	「木育」・「食育」・「自然教育」による瞳きらきら保育サービス事業の展開	70
46	福島県でCALS/EC導入のための支援事業に取り組む	
47	事業多角化を図り、地元新鮮野菜と本場の味にこだわったもつ鍋屋を開店	
48	金沢発：地場連合で発注者負担のない画期的な施工情報共有システムを構築	
49	老舗建材店が地元工務店と連携を強化、住まいのワンストップサービスの展開	71
50	再就職支援のための人材教育と職業紹介のワンストップサービスの提供	
51	岩盤浴施設の運営と家庭用岩盤浴ユニット・健康関連商品の販売	
52	地域住民の心持ちを酌んで「葬祭会館」中心の総合葬祭事業を展開	

第5章 新技術・新商品の開発・販売分野

53	道路が歌うメロディーロードを開発。居眠り運転の防止に貢献	71
54	廃材やリンゴ枝による炭製品の製造と加工販売で循環型社会に貢献	
55	紫外線と水に強い写真パネルを応用。「夜に光る看板」として製品化	72
56	ナノカーボン面状発熱体を応用したコンクリート舗装融雪システムの実用化	
57	会津に根ざした企業が画期的な冷蔵技術を使って会津発ブランド食品の確立へ	
58	高品質のウォルナット（無垢材）を低コストで調達し、顧客へ優しさを提供	
59	製品の改良開発とレンタル事業の開始、夜間景観創出による照明事業の強化	
60	動物ペット業界に新規参入。おからを原材料に「ねこ砂」を開発	
61	アスファルト舗装に輝きを！ 安全性と景観性を併せ持つ「キララアスコン」	
62	信州の木で信州の家をつくる～長野県産材の安定供給と材質向上への取り組み～	73
63	地元の金属加工メーカーと連携した建設用資材の開発・製造・販売事業	
64	土舗装にリサイクル炭化材を混合、ブロック化により新市場へ進出	
65	もはや「環境配慮」は建設業の義務！ 技術と情熱でエコ建材を開発	
66	透水性舗装に充填する高保水能力のある保水剤「ウオータフル」の開発	
67	浮屋根式液体貯蔵タンクの制振装置開発事業	
68	環境保全型「ランチブロック」の全国普及事業	

第6章 地域活性化・コミュニティビジネス分野

69	地域の困りごとに対応したコミュニティ型建設業に挑戦	74
70	歴史的資産を活用した佐倉のブランド化により、地域活性化とともに建設需要を創出	
71	首都圏の団塊世代やUターン希望者への「田舎暮らし」サポート事業	
72	地域を再生、第6次産業を創出する「多々良邑」プロジェクト	

第7章 海外関連ビジネス分野

73	青森県内の複数企業の連携で県産品を中東へ輸出の可能性を探る	74
74	地元の亜熱帯観葉植物を厳寒のロシアへ。栽培ノウハウを活かした新事業	

この全国事例は、(財)建設業振興基金のサイト「ヨイケンセツドットコム」に掲載されている「平成18年度地域における中小・中堅建設業の新分野進出定着促進モデル構築支援事業」の事例の中から新分野進出モデル事例(74事例)の概要を同基金の了解を得て掲載しています。

同サイトでは、各事例について「事業の背景と動機」、「進出時の苦労やその対応」、「成果と今後の課題」など取組内容の詳細が示されています。

《平成18年度新分野進出モデル事例集へのアクセス方法》

建設業振興基金のホームページの「ヨイケンセツドットコム」をクリックしてください。

<http://www.yoi-kensetsu.com/>

第1章 環境・リサイクル分野

1 容器包装リサイクルの事業化と再生品の高付加価値化に挑む

札幌市から排出されるプラスチックを再生加工し、原料用の混合ペレットを製造する材料リサイクル事業に進出した大富工業(株)。徹底した選別により高品質のペレットを製造するものの、安価と高い輸送費に収益が抑えられている。そこで高価で取引されるコンパウンドペレット(機能強化した粒状成形材料)を自社製造する為の実証試験に着手し、高収益化を狙う。

大富工業株式会社 (北海道札幌市)

2 ハウス栽培の通年化・低コスト化・クリーン化をめざしての研究・開発事業

従来の灯油を使ったハウス栽培は、環境負荷が重く、最近では原油の価格高騰によりコストも上昇。(株)中山組は灯油に代わる加温技術として電気式温風機に着目、これを利用した通年加温可能な低コスト環境推進型栽培システムの研究、開発事業に取り組んでいる。

株式会社中山組 (北海道札幌市)

3 鉱物資源と木質バイオチップの編成による河川浄化と自然養鶏計画

サロマ湖のある北見市常呂町で土木・建築業に50年の実績を誇る(株)池知建設は、北見市近郊で産出される鉱物資源や木質バイオチップの組み合わせによる浄化機能に着目し、河川や畜産施設の環境改善への応用による事業化に挑戦する。国土交通省の「清流ルネッサンス」の目標を踏まえた河川水質浄化試験及び環境改善下での自然養鶏に着手した。

株式会社池知建設 (北海道北見市)

4 地域の木質資源をエネルギー源とした環境型産業振興を狙う

建設廃材など木質系の廃棄物を粉砕、圧縮して成型した燃料「木質ペレット」は、石油代替エネルギーとして期待される新エネルギーの一つである。二戸木質バイオマス研究会は、地域資源を活用した木質ペレット製造・販売事業をめざして調査研究を開始し、地域の企業や行政が一体となって実現させる循環型産業振興モデルの構築を進めている。

二戸木質バイオマス研究会 (岩手県二戸市)

5 地元産出の珪砂を利用した浄化処理剤と浄化処理装置の研究・開発事業

(有)大牧建設は、河川工事などの際に生じる汚水・汚泥処理作業が労力と時間を要するものであることに着目し、これを簡略化する浄化処理剤と浄化処理装置の開発事業に取り組んでいる。浄化処理剤は地元産出の珪砂などを原料とし、開発した製品は食品会社などへ広く販売する計画である。

有限会社大牧建設 (栃木県鹿沼市)

6 粘土を材料に、土壤汚染物質を簡単・低コストで分解無毒化する技術を開発

建築業不況の中で、(株)東亜興業は、セメント材料で扱っていた社所有の山の粘土を原材料に、土壤汚染物質の浄化剤開発に乗り出した。汚染物質の揮発性有機化合物等を浄化剤と攪拌するだけで分解無毒化でき、工事の際、自社の所有する機械や技術、ノウハウを活かせるというもの。

株式会社東亜興業 (埼玉県深谷市)

7 企業連携と外部専門家活用で、コンパクトな水処理システムを開発

伊田テクノス(株)は、お互い得意分野が異なる建設企業2社と連携し、これまで緑がなかった環境対策(水処理システム)分野に乗り出した。大学や企業などの専門家にも積極的に協力を仰ぎ、大手メーカーが行っていた手法をコンパクト化したプラントの事業化に向けて実証試験を進めている。

伊田テクノス株式会社 (埼玉県東松山市)

8 地元企業・大学の技術を活用し、省コスト生ゴミ堆肥化プラントを開発

安藤建設(株)は、地元の上田市近郊で合併により増大したゴミ処理問題の解決策として、他社よりもイニシャルコストを抑えることができる「小型・省コストの生ゴミ堆肥化プラント」の開発に乗り出した。地元大学や連携企業の技術協力でモデルプラントを稼働し、ついに一般廃棄物処理業の許可も取得。不況の建設業界に風穴を空けた一例といえる。

安藤建設株式会社（長野県上田市）

9 循環型社会推進のため、農業集落排水汚泥液肥化の事業化を目指して

上田市建設事業協同組合は、産学官の連携により、農業集落排水施設から発生する汚泥を発酵処理して液体肥料化し、環境再生と産業再生の両面より検証する。また、利用環境を整備し、事業化計画を推進し、事業協同組合としての事業および組合員の経営基盤の確立を目指す。

上田市建設事業協同組合（長野県上田市）

10 緑化事業と生ゴミ処理の融合で地域の環境問題に貢献する

地域の「資源循環型社会づくり」に地元企業の一員として参加してきた北越緑化(株)は、生ゴミ処理機の販売事業への進出に向け調査・準備を進めている。増加し続けるゴミを減量化し社会に貢献するとともに、処理した土壌改良材を本業の緑化事業に利用するなど、本業でのシナジー効果も目指す。

北越緑化株式会社（新潟県新潟市）

11 農業副産物の^{もみがら}粕殻でペレットを製造、地域のバイオマス燃料として利用

日本屈指の稲作地域である新潟県中越地域を事業地盤とする上村建設工業(株)は、地域で大量に発生する粕殻を有効利用すべく、ストーブ用燃料の木質ペレットを代替する粕殻のペレット化に取り組んでいる。現在、粕殻ペレット形成機を装置メーカーと共同開発しており、自社独自に改良を重ねるなど事業化へ向けて着実に進展を図っている。

上村建設工業株式会社（新潟県津南町）

12 ごみ問題と環境問題対策に向けた生ゴミ粉碎機販売設置事業の展開

浄化槽の維持管理事業を営む森下企業(株)は、下水道最終処理場の維持管理会社との連携事業のなかで、生活排水として処理できる生ゴミ粉碎機の可能性に着目。その販売設置事業に進出し、南魚沼市で融溶炉にかわる単体設置を目指すとともに、付近地域への販売・普及させるべく事業準備を進めている。

森下企業株式会社（新潟県湯沢町）

13 砂場の環境改善・浄化事業 ～安全できれいな砂場で子供を遊ばせるために～

富山市の中村建設工業(株)は、オゾン水による殺菌・消臭後、善玉菌を散布し自然（安全）な砂場に浄化するサンドクリーンシステムに着目し、当事業を推進している。安全性と継続性をアピールポイントとし、地域内の公共機関や私立の幼稚園・保育園への訪問営業を展開している。

中村建設工業株式会社（富山県富山市）

14 自然環境を活かし地域に貢献せよ！ 目指すは「電力の自給自足」

岐阜県下呂市の金子工業(株)は、建設業からの転換が困難な山間部の建設企業として、雇用確保や地域貢献について問題意識を持っていた。そこで、山紫水明の地として全国的に有名な飛騨地域の地の利をいかし、他の山間部でも応用できるミニ水力発電システムの開発を試みている。

金子工業株式会社（岐阜県下呂市）

1 5 砂利採取跡地の優良農地化とバイオディーゼル燃料（BDF）の抽出・利用

豊田建設工業(株)が位置する天竜川下流の遠州平野は、上流部から流出した大量の砂利が堆積する地域である。砂利採取事業に伴う採取跡地の有効利用として、建設残土を利用して圃場の造成と優良農地の再生に取り組んでいる。また、再生させた農地にBDF作物を栽培・BDFを抽出し、自社の重機に利用する環境保全への対応も進めている。

豊田建設工業株式会社（静岡県磐田市）

1 6 未利用木質系資源を活用した固形燃料の生産・販売システムを構築

新見地域で35年の実績を誇る山一工業(株)は、地域の木材加工で発生する大量の未利用木質系資源を有効活用すべく、ストーブ用固形燃料であるペレットの生産、販売に乗り出した。すでに良質なペレットの開発に成功し試験販売もスタート、現在事業の安定・拡大に目を向けた取り組みを行っている。

山一工業株式会社（岡山県新見市）

1 7 焼酎かすをバイオガス化して二次エネルギーに変換する事業

静かで安全な下水道鋼管杭技術「ケコム工法」を開発した下関市の(株)コプロスは、同工法をバイオガスプラント設置に応用し、食品残渣や焼酎かすなどをバイオガス化させ、二次エネルギーへ変換させる事業に取り組んでいる。すでに実績もあり将来的な商品化を目指し事業化検証を進めている。

株式会社コプロス（山口県下関市）

1 8 中間処理・農業活性化・バイオマスを活用した有機廃棄物処理事業

本事業は、従来より計画していた「有機性廃棄物のリサイクル事業」「産業廃棄物の中間処理」「本格的な農業事業」へと取り組むものである。あさ建設協同組合の加入企業である(有)昇和土木、菊乃関工業(株)、(有)草田産業、(有)ナカモトは全て廃棄物処理のノウハウを有している強みを活かす事業である。

あさ建設協同組合グループ【幹事企業：菊乃関工業株式会社】(山口県宇部市)

1 9 高機能気相成長炭素繊維分散媒液を自治体・プラントメーカーと共同開発

公共工事の縮小に伴い、環境事業の一環としてかねてから取り組んでいた土壤汚染浄化液の研究開発を進めているダイヒョウ(株)。材料の気相成長炭素繊維（カーボンナノチューブ以下：CNT）を、自治体・プラントメーカーと共同研究開発。高価であった工業系CNTと比べて、圧倒的に安価な植物性CNTを使った土壤汚染浄化液で、現在大きな社会問題となっている土壤汚染対策の浄化液の研究開発を産学官連携で進めている。

ダイヒョウ株式会社（徳島県石井町）

2 0 廃タイヤ燃料のコスト削減型温水ボイラープラントの販売・設置

徳島市で昭和34年来、土木工事を営んでいる藤崎建設(株)は、重油等に比べてコストパフォーマンスのよい温水ボイラー事業に乗り出すため廃タイヤ燃焼施設の専門製作メーカー(株)工藤と業務提携。関東以西の販売特約店として、温泉業者等を主な対象顧客として販売する新規事業を展開する。

藤崎建設株式会社（徳島県徳島市）

2 1 新素材（カイ）セラミックを使った小型重金属抽出処理装置等の開発・販売

愛媛県松山市の(株)フォー・テックは、焼成発泡土（セラミック）と出会い、汚濁水の浄化能力に優れていることを発見し、新規事業として、環境改善事業を立ち上げ、小型重金属抽出処理装置「システムプラント」及び汚染土壌浄化剤「すぐるくん」を製品化し、販売を開始した。

株式会社フォー・テック（愛媛県松山市）

2.2 建設廃材をバイオマス資源として有効活用を図り、新規事業化を目指す

愛媛県大洲市の(株)堀川建設は、自社で発生する建設廃材、他社（建設業、製材業等）が排出する木質系廃棄物が有効利用されていない現状に着目し、これらをバイオマス資源（木質生物資源）として活用する新規事業の事業化調査を実施した。

株式会社堀川建設（愛媛県大洲市）

2.3 選定作業で発生する生木を再利用し付加価値の高い堆肥肥料として製造販売

(株)守恒造園建設は、これまでも造園の際に排出される木材を利用したりサイクル事業を行ってきたが、さらに、剪定で廃棄される生木に着目、これを他事業者から受け入れ、付加価値の高い堆肥の製造、供給にいたる事業の確立と強化を図ることとした。

株式会社守恒造園建設（福岡県北九州市）

第2章 農林水産業分野

2.4 地域酪農農家の経営支援を目指した理想的な粗飼料の生産と販売事業

「酪農王国」である天北地域で70年の実績を誇る(株)山本組は、低迷する地元酪農業を支援するために、デントコーンサイレージ（飼料用トウモロコシを発酵させた餌）の生産・販売及びコントラクション事業に参入した。高騰する輸入飼料、敬遠される重労働、草地酪農では不足する栄養価の確保、長期保存等の課題を解決する理想的なシステムの構築に挑戦する。

株式会社山本組（北海道天塩町）

2.5 EM（有用微生物）を活用した農業による米・りんごを生産・販売

(株)村上組は、環境問題に配慮した健康食品への人々の関心の高さに注目、化学肥料を使用せず「安全・安心」な米・りんごを生産・販売する事業に進出する。化学肥料の代わりとしてEM（有用微生物群）有機堆肥を活用し、循環型農業を行うことにより土壌回復に努めながら農産物のブランド化を確立する方針である。

株式会社村上組（青森県弘前市）

2.6 地域と連携し、「白神」ブランドを活かした農産物を生産・販売する

(株)ニシキ建設は新分野事業としてブルーベリーの生産・販売事業が有望と見込み、本格的に農業事業を立ち上げることにした。当事業のために農業生産法人(有)白神コリン農園を設立。また(株)白神自然農場も地元の農業者らと共同で設立しており「白神山地」ブランドを活かしたベリー類以外の農産物の生産・販売も行っている。

株式会社ニシキ建設（青森県弘前市）

2.7 青森産の地鶏「青森シャモロック」の飼育に挑戦、本格稼働へ

建設不況に危機感を抱いた(株)片山組は、新たな事業の柱として青森の地鶏「青森シャモロック」に着目し、土木建築業から養鶏業へ参入を図っている。品質の高い肉のため、広い鶏舎とガーリック粉末などを配合した無添加飼料を使用するなど手間をかけた飼育法を採用し、年間生産量1万5千羽体制を目指し、本格的な稼働を始めたところである。

株式会社片山組（青森県大鰐町）

2.8 夏季冷涼な気候を活かし四季成りイチゴ（こはく姫）の産地化・ブランド化に取り組む

(有)高屋敷建設を営む建設業者6社では「久慈四季成りいちご生産者倶楽部」を結成し、共同でイチゴ栽培に取り組んでいる。このイチゴは、寒冷地でも一年中収穫できるユニークな新品種であり、本事業は企業の利益だけにとどまらず、産地化・ブランド化など地域経済の活性化までも視野に入れるものである。

久慈四季成りいちご生産者倶楽部 【幹事企業：有限会社高屋敷建設】

2 9 ワサビ栽培事業によるアグリビジネスへの進出と地域活性化の一翼を担う

道路や学校建設を手掛ける奥田建設(株)は平成17年よりワサビ栽培事業に参入、さらに栽培地である加美町および加美町わさび生産組合と連携し、第2期事業をスタートさせた。高度栽培技術の普及に努めるとともに、ワサビの加工と商品開発、販路の拡大を推進しながら、収益事業にとどまらず地域活性化を目指す予定である。

奥田建設株式会社(宮城県仙台市)

3 0 農業先進国オランダの技術を採用した魅力ある未来型農業の構築

伸和興業(株)は、栽培施設一式にオランダの先進技術を導入し、日本では珍しい栽培品種であるトマト「富丸」「ケンタロー」の温室栽培および販売事業に取り組んでいる。栽培管理にコンピュータを取り入れ、天候に左右されない栽培方法の導入、労働時間の短縮を進めるとともに独自販路の開拓で未来型農業の構築をめざす。

伸和興業株式会社(宮城県仙台市)

3 1 ステビア農法による安全な農産物を消費者の食卓へ

(株)丸孝産業は、「本当に体に安心な食材を提供する」ため、賛同する農家に生産を委託し、農産物を流通・販売する事業を行っている。この事業を通し、人体に優しいとされるステビア堆肥を用いたステビア農法を普及させ、消費者と生産者のネットワークを強化するねらいもある。

株式会社丸孝産業(神奈川県横須賀市)

3 2 遊休農地を活用した農業事業参入 ~観光農園と直売による展開を推進~

石井工業(株)は、大正2年創業の堅実経営を推進する実績ある建設事業者であるが、遊休農地を活用した農業事業への参入を決意。農業生産法人「(株)四季菜」を設立し、農家から賃貸借して約66aの農地を確保。農産物の栽培・販売に加えて、地域観光との相乗効果を狙い、観光農園と直売を計画するなど観光交流の増大と地産地消を促す。

石井工業株式会社(山梨県大月市)

3 3 無農薬・無化学肥料農業への進出 ~観光農園化を目指して~

八ヶ岳山麓の原村の遊休地を利用して有機栽培農園の経営に乗り出したのが(有)庫昌^{くらまさ}土建である。5年の歳月を経て、堆肥・土作りに発酵バイオ酵素を利用する有機栽培農法への転換を図り、農薬や化学肥料を一切使わない農業を確立しつつある。安全な農作物の栽培に情熱を賭ける宮坂社長の挑戦は続く。

有限会社庫昌土建(長野県下諏訪町市)

3 4 長年の夢である「地域交流」の一環として観光農園・体験型農場事業を展開

富山県南砺市の土山^{どやま}建設(株)は、観光農園及び体験型農場の開設に踏み出した。富山・石川両県の県境にある資材置場を、地域交流や農林業振興など地域振興の拠点に生まれ変わらせるものである。将来的には、「道の駅」を誘致、一層のにぎわいを図る。

土山建設株式会社(富山県南砺市)

3 5 倉庫や仮設材が「植物工場」に変身! 天候に左右されずに売れる野菜を生産

乾建設工業(株)は、従来、建設事業収入の減少とともに、土地や資材置き場など遊休資産の活用に悩んでおり、水耕栽培に目を付けた。外部の自然環境の影響を受けず、市場ニーズにマッチした作物の生産が可能な「植物工場」への期待は高まる。

乾建設工業株式会社(岐阜県養老町)

3.6 国立公園内の海で「とらふぐ」の養殖と加工・販売の一貫体制を構築

愛媛県愛南町の(株)中谷建設は、風光明媚な土地、透明度の高い海、まさしく天然に恵まれた最高の養殖場、足摺宇和海国立公園内に生簀を設け、高級魚「とらふぐ」の養殖に取り組んでいる。また、社員にふぐ取扱者免許を取得させ、加工、販売まで手掛け、収益強化を図っている。
株式会社中谷建設（愛媛県愛南町）

3.7 高知県で規格外ミニトマトの商品化による新たな収益源の確保

ハギノ建設(株)は、昭和8年、高知県安芸市で建設業を創業、昭和41年にハギノ建設株式会社に組織変更した。公共工事の縮小に伴う打開策として、平成17年に高糖度のミニトマトの栽培を手掛けた。平成18年にはミニトマトの生産過程から生じる規格外品をジュース等へ利用するための商品化を進める。
ハギノ建設株式会社（高知県安芸市）

3.8 ブルーベリー、そば、高菜等の農産物栽培とこれを利用した観光農園の開発

(株)池田建設は、若者の農業離れ、進む高齢化などから、増加の一途をたどる耕作放棄地の再生に建設業の持つ技術力とノウハウを生かそうと、(有)西山田農園を設立。現在、付加価値の高いブルーベリーをはじめ、そば、高菜、菊等を栽培し、加工、販売まで行っている。今後は観光農園としてレストラン・直売所等も設ける予定。
株式会社池田建設（佐賀県佐賀市）

第3章 介護・福祉分野

3.9 車種を選ばず簡単に脱着できる障害者にやさしい運転補助装置の開発

希望する車に簡単に装着できる汎用的で安価な運転補助装置（ハンドコントロール型）の開発に取り組む(株)建装。レンタカーには当たり前利用され、障害者の自由な行動を保障する米国での実体験をベースに、セダンタイプの国産車に対応する装置の開発を目指している。障害者の社会参加や移動の円滑化を促進することに事業化の狙いがある。
株式会社建装（山形県山形市）

4.0 社有地活用で介護施設を建築・開設、介護ノウハウを蓄積し介護ビジネスへ

(有)小川組は、社有地を活用して、地元で不足している介護施設の建築・開設に取り組んでいる。地元のニーズを汲み上げながら介護サービスのノウハウを蓄積していき、やがては介護用住宅建設やリフォーム、介護コンサルティングへの進出も目指している。
有限会社小川組（栃木県市貝町）

4.1 一人暮らし認知症高齢者のためのグループホーム建設・運営事業

全国平均に比べ高齢率が高く1人暮らしの認知症高齢者も多い新潟県魚沼市。同市に立地する銀山開発(株)は、平成16年の中越地震で被害者救済に協力したことを契機に社会的弱者である高齢者への援助事業に取り組んでおり、いよいよこの3月には認知症対応型共同生活介護施設(グループホーム)を開業する。
銀山開発株式会社（新潟県魚沼市）

4.2 介護住宅・施設改修事業の推進とユニバーサルデザインの研究

朝日建設(株)は、介護事業を行う(有)朝日ケア(子会社)と連携を密にし、高齢者介護のための住宅改修や既存施設のコンバージョン事業を推進している。これらの事業を通して、高齢者を含め誰もが利用しやすいように設計するユニバーサルデザインの導入も研究していく。
朝日建設株式会社（富山県富山市）

4 3 介護福祉施設の企画・施工から運営コンサルまでをトータルプロデュース

住宅のバリアフリー化にいち早く取り組んできた(株)富士建設は、伊勢・志摩地区の高齢化率の高さに着目し、高齢者介護福祉の経営全般をプロデュースする事業に取り組んでいる。自社所有物件による介護福祉施設の運営で得たノウハウと施設現場での実務経験を生かし、介護福祉施設のトータルプロデュース事業に進出した。

株式会社富士建設 (三重県伊勢市)

4 4 本業の好況による余剰資金で新事業へ。地域貢献のため福祉、農業分野進出

(株)奥田工務店は、本業で好調な業績をあげており、その余力で福祉・農業分野に進出する。同社は以前から、社会福祉法人として介護事業に取り組んでおり、今後は株式会社として同事業を本格化する。同時に農業分野にも参入。稲作などを行うことで、地元農地の荒廃に歯止めをかけ、地域全体の活性化をめざす。

株式会社奥田工務店 (滋賀県日野町)

第4章 サービスの開発・提供分野

4 5 「木育」・「食育」・「自然教育」による瞳きらきら保育サービス事業の展開

「自然の温もりのなかで子供を育てたい」。子供を育てる親の願いを事業に結び付け、保育施設の建設・運営事業に参入した(株)八晃建設。木製の机、椅子、おもちゃが溢れる施設には、木の香が漂う。木に親しむ「木育」、健康的な食事による「食育」、自然に対する心を育む「自然教育」を保育の基本理念とし、他には真似のできない保育サービスを実現した。

株式会社八晃建設 (北海道七飯町)

4 6 福島県でCALS / EC導入のための支援事業に取り組む

三柏工業(株)は、昭和23年に福島県西白河郡矢吹町で設立された。平成12年に建設業向け機械リース、不動産管理を営む(株)オーシーエスを設立し、それを母体として三柏工業が持つCALS / ECに関する技術と地域の営業基盤を活かして、平成17年にCALS / EC事業を立ち上げた。

三柏工業株式会社 (福島県矢吹町)

4 7 事業多角化を図り、地元新鮮野菜と本場の味にこだわったもつ鍋屋を開店

一般住宅建設の基礎工事を事業の主力としてきた(有)明尾土建では、事業多角化をさらに推し進めるため、飲食業に進出することにした。今回の事業を第二の創業と位置付ける同社は、味の研究を重ね、試作を繰り返し、地元の人々に納得してもらえる商品を掲げ、もつ鍋屋「燦々七(さん・さん・なな)」を開店した。

有限会社明尾土建 (埼玉県狭山市)

4 8 金沢発：地場連合で発注者負担のない画期的な施工情報共有システムを構築

金沢市で51年の施工実績を誇る^{がくほう}岳邦建設(株)は、土木の枠を超え、IT分野に進出した。ASPを活用した施工中の受発注者情報共有システムで、発注者のシステム構築負担のない画期的なビジネスモデルである。現在は、石川県で実証実験中で、全国展開に向け着実に動いている。

岳邦建設株式会社 (石川県金沢市)

4 9 老舗建材店が地元工務店と連携を強化、住まいのワンストップサービスの展開

岐阜市の建材流通会社である(株)山一建材は、地域住民(顧客)と地元優良工務店との間の様々なコミュニケーションの場として「住まい'S D E P O . ショールーム」を開設した。住まい'S D E P O . では、優良登録工務店の紹介はもとより、金融・保証・保険サービスをワンストップで提供する。

「住まい'S D E P O .」グループ 【幹事企業：株式会社山一建材】(岐阜県岐阜市)

5 0 再就職支援のための人材教育と職業紹介のワンストップサービスの提供

明良工業(株)は、設計エンジニアリングのノウハウを生かし自社で運営するパソコン教室を開設。パソコン入門講座、資格取得講座、C A D講座などを展開する一方、有料職業紹介業・一般労働派遣業の免許を取得し、両方を組み合わせた再就職支援のための人材教育と職業紹介のワンストップサービスの提供を開始する。

明良工業株式会社 (大阪府東大阪市)

5 1 岩盤浴施設の運営と家庭用岩盤浴ユニット・健康関連商品の販売

三好市で56年の実績を有する(株)元木土建は、最近ブームになっている岩盤浴のための施設「癒楽(Y U - R A - K U)(徳島県三好市)を開設し、運営する事業に乗り出した。同時に、手軽に家庭で楽しめるように家庭用岩盤浴ユニットの販売・施工、S G Eという天然鉱石を使用した健康用品の販売も行う。

株式会社元木土建 (徳島県三好市)

5 2 地域住民の心持ちを酌んで「葬祭会館」中心の総合葬祭事業を展開

土木で長い業歴を有する(株)大一林組は、公共工事依存型経営から脱却し、「会館葬」を中心とした総合葬祭事業に進出した。葬儀(会館葬等)、搬送、土葬時の労務提供、墓地造成、墓石販売、墓地の清掃管理、法事までを一貫して行い、地域住民の利便性に貢献するものである。

株式会社大一林組 (高知県仁淀川町)

第5章 新技術・新商品の開発・販売分野

5 3 道路が歌うメロディーロードを開発 居眠り運転の防止に貢献

(株)篠田興業と道立工業試験場が共同で開発した「メロディーロード」は、路面に刻んだ溝によって音階を作ることができ、走るだけでメロディーが流れる道路。交通安全に寄与すると共に、新規観光資源としての宣伝効果もあるので、道路関係者・観光事業関係者などへ広くP Rしていく計画である。

株式会社篠田興業 (北海道標津町)

5 4 廃材やリンゴ枝による炭製品の製造と加工販売で循環型社会に貢献

解体工事で発生する廃材や間伐材、地元農家のリンゴ剪定枝などの焼却処理事業を行ってきた(株)岩谷工務所は、こうした廃棄物を何とか再資源化できないか検討を続けてきた。ある日新聞で「間伐材を炭化し水質汚濁防止剤にさせる実験」を読んだことから「炭」に着目、廃材やリンゴ剪定枝を原料とした炭の製造・加工・販売業に踏み切った。

株式会社岩谷工務所 (青森県深浦町)

5 5 紫外線と水に強い写真パネルを応用。「夜に光る看板」として製品化

工藤建設(株)を代表とするグループは、「変色しない写真パネル」を開発した北海道旭川の写真科学研究所と契約を結び、付加価値化製品として「夜間に光る看板 P I N P I X」を開発することに決めた。LEDなどを利用し発光させる機能を備えた同製品は、完成後道路標識や看板として普及させる。

工藤建設株式会社 (岩手県奥州市)

5 6 ナノカーボン面状発熱体を応用したコンクリート舗装融雪システムの実用化

総武建設(株)が取り組んでいるのは、連携先(株)ティーアールティーが開発した「面状ナノカーボン発熱体」を活用した融雪システムの事業化である。従来の形式と比較すると、コスト低減と敷設箇所の形状に合った舗装が可能になる等のメリットがあり、この冬の融雪試験等によるデータ収集などを経て事業化に入る予定である。

総武建設株式会社 (宮城県石巻市)

5 7 会津に根ざした企業が画期的な冷蔵技術を使って会津発ブランド食品の確立へ

会津とともに活動する(株)共立土建は、社会福祉事業や公的施設運営事業も展開しているが、勢いは止まることなく、農業分野へ進出、さらには今回の「地域ブランド食品の確立」へ動きだした。画期的な冷蔵技術を使って、地域に埋もれている特産品をアピールしていく。

株式会社共立土建 (福島県会津若松市)

5 8 高品質のウォルナット(無垢材)を低コストで調達し、顧客へ優しさを提供

“人と環境に優しい”住宅を目指し、健康・安全・意匠にこだわりを持ち続ける「きらく」が、さらに一歩進んで、無垢材の海外調達へ踏み出した。世界三大銘木の一つであるウォルナット(クルミ科)を中央アジアから低コストで調達し、建材や家具として低価格で顧客へ提供する。

きらく (福島県須賀川市)

5 9 製品の改良開発とレンタル事業の開始、夜間景観創出による照明事業の強化

本業の造園業・園芸業だけでなく、高崎城趾公園の桜のライトアップなど、景観照明事業の実績も多い(株)しみづ農園。同社は、これまでのノウハウを活かし、夜間景観事業の創出、照明器具の改良および企業や自治体へのレンタル化により、事業の拡大強化を図っている。

株式会社しみづ農園 (群馬県高崎市)

6 0 動物ペット業界に新規参入。おからを原材料に「ねこ砂」開発

明治期創業の(株)三上工務所は川越市で土木・建築業を営んできたが、新分野事業であるペット製品「ねこ砂」の製造・卸売り事業に乗り出す。原料としては食品廃棄物であるおからを使用する。ペットコンサルタントなどと協力して調査・開発を進め、平成19年以降には製造・卸売を開始する予定である。

株式会社三上工務所 (埼玉県川越市)

6 1 アスファルト舗装に輝きを！ 安全性と景観性を併せ持つ「キララアスコン」

ガラス瓶のリサイクルに早くから取り組んできた(株)中村建設は、ガラス再資源化プラント設備を活用して、自社の舗装技術をベースに「キララアスコン」(ガラスカレット入り再生密粒度アスコン)を製品化し、山梨県リサイクル製品の認定を受ける。廃ガラスの再資源化の促進と道路の安全性、景観性に効果を見込み、事業化に取り組む。

株式会社中村建設 (山梨県甲斐市)

6.2 信州の木で信州の家をつくる ～長野県産材の安定供給と材質向上への取り組み～

(株)フォレストコーポレーションは、「工房信州の家づくり」(信州の木で信州の家をつくる)をテーマに、県内の森林組合、素材生産者、山仕事師、製材業、大工、建具・家具などとネットワークを形成し長野県産材を使用した個人住宅の建設に取り組む中、長野県産材の供給システムの拠点となる天然乾燥方式のストックヤードを新設した。

株式会社フォレストコーポレーション (長野県伊那市)

6.3 地元の金属加工メーカーと連携した建設用資材の開発・製造・販売事業

北陸維持サービス(株)が進める新事業は、建設工事に携わってきた立場から既存の建設用資材や備品を見直し、改良・開発・製造して販売までを展開するもの。これまでの経験・知識を反映させ、また地元の金属加工メーカーとも連携することで、より安全で効率的な製品を低価格で提供し、建設業界と地場産業の双方へ貢献を目指している。

北陸維持サービス株式会社 (新潟県加茂市)

6.4 土舗装にリサイクル炭化材を混合、ブロック化により新市場へ進出

岐阜市において“舗装の市川”として地域社会に貢献してきた(株)市川工務店は、従来の土舗装にリサイクル炭化材を混ぜる「カーボンクレイ工法(炭土舗装)」を開発した。現在、この技術の活用・普及を目指し、従来よりも手軽に施工できる「ブロック化(2次製品化)」に取り組んでいる。

株式会社市川工務店 (岐阜県岐阜市)

6.5 もはや「環境配慮」は建設業義務! 技術と情熱でエコ建材を開発

岐阜県多治見市のエーティー技研(株)は、ものづくりの技術開発をコアコンピタンスとする企業である。環境に配慮した持続可能な循環型建材の使用は、建設業にとって重要な課題であり、義務であるとの問題意識の下、既製品に負けないエコ建材の開発に着手した。

エーティー技研株式会社 (岐阜県多治見市)

6.6 透水性舗装に充填する高保水能力のある保水剤「ウオータフル」の開発

愛知県および岡崎市などの公共工事の請負を事業主体とした(株)加藤組は、公共事業の縮小による売上減に危機感を抱き、将来を見据えた新分野への進出を模索。舗装専門会社から移籍してきた技術者の舗装知識を生かし、保水能力の高い保水剤の開発に取り組んでいる。都市部のヒートアイランド現象に効果が見込まれる。

株式会社加藤組 (愛知県岡崎市)

6.7 浮屋根式液体貯蔵タンクの制振装置開発事業

地震によるタンク火災は、長周期地震動で貯蔵液体が共振して大きな波を起こすスロッシング現象が生じることで、タンクが損傷、液面が大気中に露出することで生じる。このスロッシング現象を抑えるために、浮屋根にばねとおもりをつけ、液体の振動を制御する装置を考案した。本事業は、この制振装置の開発に取り組むものである。

勝井建設株式会社 (山口県岩国市)

6.8 環境保全型「ランチブロック」の全国普及事業

(株)吉工園^{きっこうえん}は、昭和42年以来、造園業として造園の設計施工、緑地メンテナンス、造園工事、庭木類の生産販売、土木工事などを行ってきたが、平成10年頃から、吉村社長が発明した環境保全型「ランチブロック」及び同工法の開発を始め、完成した。現在、製造法の改良と並行して、全国普及に向かって事業を推進している。

株式会社吉工園 (山口県美祿市)

第6章 地域活性化・コミュニティビジネス分野

6.9 地域の困りごとに対応したコミュニティ型建設業に挑戦

共創技建(株)は、平成17年の「きよたサポートセンター」立ち上げ以来、行政の手の届かない「すきま市場」に対してのサービス事業を続けてきた。リフォーム事業などで実績も築かれ、町内会から信頼が寄せられているので、今後はこのネットワークを活用し、介護・育児事業面でのサービスも充実させたい方針である。

共創技建株式会社（北海道札幌市）

7.0 歴史的資産を活用した佐倉のブランド化により、地域活性化とともに建設需要を創出

佐倉建設コンシェルジェ協議会は、地域の歴史的資産を活用した佐倉の全国ブランド化を図るため、地元企業やボランティア等と協力して活動を実施している。佐倉藩が取り組んだ日米修好通商条約の締結150年を機に国際交流（開国）ロード推進事業などを行い、「歴史のまち佐倉」として地域全体の活性化を図りつつ、建設需要の創出をねらっている。

佐倉建設コンシェルジェ協議会【幹事企業：大昌建設株式会社】（千葉県佐倉市）

7.1 首都圏の団塊世代やUターン希望者への「田舎暮らし」サポート事業

アメミヤ興業(株)は、過疎化の進む地元の秩父地域へ「田舎暮らし」希望者を呼び込み、首都圏から同地への移住生活をサポートする事業に取り組む。建設業者・不動産業者・設計事務所6社と連携し「ちかいなか・・・秩父」田舎生活創造工房を立ち上げ、希望者に対しての土地購入の相談、住宅設計・建設にも携わり、一貫してサポートする。

アメミヤ興業株式会社（埼玉県長瀬町）

7.2 地域を再生、第6次産業を創出する「多々良邑」プロジェクト

本事業は、(株)多々良造園の経営者一家の所有する遊休不動産等を有効活用し、蓄積してきた建設・造園・農業の専門技術を生かして、農園、農産物加工場、岩盤浴・和カフェ・温泉、物販などを総合した「多々良邑」施設を建設し、「第6次産業」（1次産業×2次産業×3次産業）を展開するものである。

株式会社多々良造園（山口県山口市）

第7章 海外関連ビジネス分野

7.3 青森県内の複数企業の連携で県産品を中東への輸出の可能性を探る

農業などの新分野に進出するも、国内市場で販路確保に悩んでいた嶽開発(株)をはじめとする建設企業5社は「県産品輸出ベンチャー企業設立準備会」を設立。海外市場へ目を向け、ドバイ首長国を中心に中東地域への県産品輸出を焦点として事業に着手した。当モデル事業は県の産業を活性化させることもねらいである。

県産品輸出ベンチャー企業設立準備会【幹事企業：嶽開発株式会社】（青森県弘前市）

7.4 地元の亜熱帯観葉植物を厳寒のロシアへ。栽培ノウハウを活かした新事業

公共工事が激減する八丈島。同地で土木工事などを長年行ってきた(株)小宮山組は、島の特産である観葉植物「フェニックス」を生産し、ロシアへ販売するという新事業に取り組んでいる。これまでも同植物を生産し、東京へ出荷した実績があるため、そのノウハウを活かしつつ輸出版売についてのアドバイスを受けながら事業を進める予定である。

株式会社小宮山組（東京都八丈町）